

2022年1月 編集:国際開発救援財団(FIDR)

コーヒー農家の声をもとに研修教材を作っています

新型コロナウイルス感染がまだ落ち着かない現在、ソンラ省では感染予防のためのワクチン接種を進めています。日常生活が戻りつつありますが、活動を実施する際には人数制限を行っています。そのような状況の中、今月はタイバック大学の担当職員と一緒に研修教材の作成を進めました。

教材の内容はこれまでにコーヒー農家さんから挙げてきたニーズを元に検討しました。4C 認証に基づく栽培方法やオーガニック肥料の作り方を知りたいという要望が多く寄せられたため、まず、それらに関する教材づくりに取りかかりました。「4C 認証は知っているが、詳細内容が多いため、実践が難しい」というコーヒー農家さんの悩みを少しでも解消できるように、新しく作られた教材では4C の特徴やメリット、それを実践するための技術や注意事項を簡潔な言葉で分かりやすく説明しています。特に、少数民族の農家さんの中には読み書きができない人もいるため、写真やイラストを取り入れるなど誰もが楽しく読めるように工夫しました。

作成された教材は研修やイベント、勉強会等で配布される予定です。今後は、研修の講師や農家からの意見を踏まえて教材を改善し、使いやすく、かつ実践しやすい教材に仕上げていきます。



農家さんを交えて、研修教材づくりを行う様子

ベトナムのテト休暇♪

Chuc mung nam moi! 明けましておめでとうございます!

ベトナムでは、旧暦で新年をお祝いし、旧暦のお正月を「テト」と呼んでいます。テトの日には旧暦によって毎年変わりますが、今年は1月31日が大晦日、2月1日が元旦にあたります。テトはベトナムで最も重要な祝祭日であり、人々はどんなに忙しくても全国各地から帰省し、家族と一緒に過ごします。親戚が集まり、1年間のことを振り返りながら、翌年への願いを込めてお祝いします。

この期間は、街は国旗の色でとてもカラフルに染められます。公共施設はバナナや花で飾られ、市場にも色とりどりのお花が並べられます。地域によって飾られる花が異なり、北部の家では桃の花を、南部の家では梅の花を飾ります。

また、テトには両親や先生の家を訪ね、育ててくれた方への敬意と感謝の気持ちを表すのも習わしです。人々はお寺等に行き、家族、親戚、友人の健康、幸運を祈ります。

昨年から新型コロナウイルス感染の影響で、テトを祝う多くの行事が中止され、テト期間中の移動も厳しく制限されたため、帰省できず、家族に会えない人たちが多くいます。早く日常の生活に戻れるよう願っています。



テトの時期には街は花で彩られます



テトに食べられる伝統的な料理